

第20回 関西CE会 開催のご案内

2019年5月吉日

関西CE会 会長 西川 芳久

名古屋工業会大阪支部 支部長 岡崎 格朗

初夏の候、皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年に引き続き、第20回関西CE会を下記の通り開催いたします。

本年は名古屋工業大学 秀島栄三教授による講演を開催いたしますので、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

名古屋工業会大阪支部共催ですので、いずれの学科の方でも参加いただけます。

記

日時：2019年7月20日（土）15時より受付

15:30～16:10 総会（215 会議室）

16:20～17:20 「講演：「CIM(Construction Information

Modeling)の可能性」

講師：名古屋工業大学教授 秀島 栄三

（講演概要、講師略歴は別紙をご参照ください）

17:30-19:30 懇親会(食堂)

会場：中央電気倶楽部（JR 大阪駅より徒歩 12 分）

〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25

電話：06-6345-6357、FAX：06-6345-6877

会費：7,000 円

（H14 年以降学部卒業生は 5,000 円、H30 及び H31 年卒業生は 2,000 円）

申込先：堀口 大輔(C59) d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp

申込時の記入事項：①氏名 ②住所 ③卒年、科 ④名工会会員可否

⑤TEL もしくは携帯 ⑥E-mail ⑦総会・講演への出欠、⑧懇親会への出欠

申込期限：2019年6月29日（土）

1. 講演（演題課題テーマ）

「CIM(Construction Information Modeling)の可能性」

2. 講演の趣旨/概要について

第5期科学技術基本計画で提唱されたSociety5.0において、インフラ領域のパラダイムシフトとしてバーチャル・ジャパンの構築・運用による街づくり・国土の強靱化が掲げられています。2030年までに導入・普及が目指される技術としてCIM(Construction Information Modeling)があります。しかしその効果が明らかでなく普及が進んでいません。本講演ではCIMの意義と発展の可能性を説明するとともに、名工大環境都市分野で2018年度から始めたCAD/CIM教育の取り組みについてお話しします。

3. 講師

名古屋工業大学教授 秀島栄三

1) 略歴

・1966(昭41)年05 月08 日生

-1【学歴】

・1985(昭和60)年03月 筑波大学附属駒場高校 卒業

・1990(平成02)年03月 京都大学工学部土木工学科 卒業

・1992(平成04)年03月 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻 修士課程 修了

-2【学位】

・1996(平成8年)年11月 博士(工学) 京都大学

「都市拠点開発の基盤整備計画におけるコンフリクトの調整方式に関するシステム論的研究」

-3【職歴】

・1992(平成04)年04月 京都大学 助手

・1998(平成10)年04月 名古屋工業大学 講師

・2000(平成12)年04月 JICAブラジル都市交通人材開発プロジェクトチーフアドバイザー

・2001(平成13)年05月 名古屋工業大学 助教授(のちに大学院准教授)

・2004(平成16)年04月 文部省在外研究員(スタンフォード大学客員研究員)

・2012(平成24)年04月 名古屋工業大学大学院 教授

-5【専門】

・土木計画, 都市計画, 政策科学

-6【所属学会】

・土木学会

・日本計画行政学会

・日本都市計画学会

2) 主な学会役職歴

・1998(平成10)年～2003(平成15)年 土木学会土木計画学研究委員会幹事

・2005(平成17)年～ 日本計画行政学会常任幹事・評議員・支部幹事長

・2005(平成17)年～2008(平成20)年 日本都市計画学会学術委員会委員